

平成 29 年 6 月 6 日

特定非営利活動法人 都市災害に備える技術者の会 会員各位

理事長 伊藤東洋雄

平成 29 年度定期総会および第 48 回研修会のご案内

特定非営利活動法人 都市災害に備える技術者の会の平成 29 年度定期総会を開催いたします。
ふるってご参加ください。出欠のご確認は、同封のハガキでご返送ください。

日 時：平成 29 年 7 月 8 日（土）13 時 15 分～13 時 45 分

場 所：こうべまちづくり会館 3F 多目的室 神戸市中央区元町通 4 丁目 2 番 1 4 号

TEL：(078)361-4523 <http://www.kobe-sumai-machi.or.jp/matisen/>

なお、総会議案書は、ホームページ (<http://toshisaigai.net/>) に掲載していますので、ご確認ください。

総会終了後、高石市長 阪口伸六氏を講師にお迎えし、防災講演会（第 48 回研修会）を開催します。
なお、この講演会は、会員外にもオープンに致しますので、お誘いあわせの上ご来場ください。
参加費は無料です。

演 題：『ピンチはチャンス！防災力ナンバーワンのまちづくり』

講 師：大阪府高石市 市長 阪口伸六 氏

日 時：平成 29 年 7 月 8 日（土）14 時 00 分～16 時 30 分

場 所：こうべまちづくり会館 3F 多目的室

※講演会場の準備の都合上、申込み先着 50 名様とさせていただきます。



神戸市中央区元町通 4 丁目 2 番 1 4 号（元町商店街 4 丁目西端の南側角）

TEL：(078)361-4523 <http://www.kobe-sumai-machi.or.jp/matisen/>

地下鉄海岸線「みなと元町駅」西 1 出口から北へ 1 分

神戸高速 「花隈駅」東口から南へ 3 分 「西元町」東口から東へ 5 分

J R・阪神 「元町駅」西口から西へ 8 分

※駐車場はありませんので、車で来館の場合は市営花隈駐車場（徒歩 5 分・有料）等をご利用ください。

【防 災 講 演 会】

テーマ 「ピンチはチャンス！防災ナンバーワンのまちづくり」

～高石市長 阪口 伸六～

【経歴】

昭和 31 年 大阪府高石市生まれ

清風南海高等学校を経て同志社大学卒業後、アパレル商社に勤務。昭和 62 年高石市市議会議員に初当選。平成 15 年高石市長に当選し、現在 5 期目。泉州市・町関西国際空港推進協議会会長、石油基地自治体協議会副会長を務め、平成 29 年 5 月には大阪府市長会会長に就任。高石市だけでなく泉州、大阪、関西、日本の幸せのために奮闘中。



【概要】

高石市は人口約 5 万 8000 人、面積 11k m²のコンパクトなまちであります。特に市域の約半分 6k m²は高度成長期にベッドタウンとして急速に市街化した密集した住宅地、残り 5k m²が臨海コンビナートで、石油精製プラントや液化天然ガスから都市ガスを製造し近畿一円に供給する施設、また同発電所も稼働し電力供給し、また石油化学の大手企業の西日本最大級の工場など、一大石油化学エネルギー供給基地を形成し、現在も、製造品出荷額も 9 7 0 0 億円と、堺、大阪、東大阪、八尾市について第 5 位で、活発に操業しています。

そんな特徴ある都市に、あの東日本大震災以降、惹起された南海トラフ地震津波に対する防災対策の強化という重い課題が突きつけられました。

平成 15 年当時は、学校耐震化も全国ワースト 1 と、公共施設も耐震化が遅れており、昭和 40 年代に建設された住宅も老朽化が進んでいました。

また、バブル崩壊、地価の下落や税制改正による市税収の激減、経常経費の膨張等により厳しい財政難に直面するなか、折りしも、当時推進されていた平成の大合併に際し、市民は住民投票で自主自立を選択し、同市は懸命に財政再建を進めており、防災対策に向ける予算の確保もままならない状況でありました。

そんな、二重苦三重苦のような状況で、阪口市長以下職員市民、企業などが一丸となって防災ナンバーワンのまちづくりを目指して、一歩ずつ、しかし着実に取り組んで行ったのであります。

昨年 11 月に実施した第 6 回目の総合避難訓練では、人口の 2 割を超える 1 万 2,000 人以上の方々が参加されました。耐震化を完了した市内中学校では中学生自身が小型可搬式ポンプを使う訓練を行い、高台移転で旧体育館を廃止し、国の緊急防災交付金の支援を得て平成 27 年 3 月に竣工した、防災機能を有する総合体育館「カモンたかいし」では市内医療機関の医師によるトリアージを行いました。

臨海部では企業が自主的に建設した津波避難タワーを活用した訓練など、地震津波を想定した本格的な訓練が行われ、また、とくに昨年はその後 11 月 5 日に、通称“ドラム缶作戦”と言われる、災害直後の BCP を想定した石油等の被災地への搬送訓練を、臨海部の石油精製企業と自衛隊の協力により実施されました。

まさにピンチはチャンス、そのものであります。

「やる気になれば、出来る！」有言実行の「防災ナンバーワンのまちづくり」について、阪口市長が熱く語ります。乞うご期待！